

令和 6 年度自動車騒音常時監視結果

【要旨】

岩手県では、県内に規制地域を有する 11 町村において、自動車騒音の状況を把握するため、騒音規制法に基づき自動車騒音の常時監視を実施しています。

常時監視の結果、評価の対象とした 7,148 戸のうち、昼間（6 時～22 時）夜間（22 時～6 時）ともに環境基準を達成していたのは 6,937 戸（97.0%）でした。

1 目的

自動車騒音の状況の常時監視は、自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握し、自動車騒音公害の防止対策に資することを目的としている。

なお、この常時監視は、騒音規制法第 18 条の規定に基づくもので、令和 5 年度に作成した「自動車騒音常時監視実施計画（令和 5 年度～令和 8 年度）」に従い、毎年 2～3 町村ずつ実施するものである。

2 自動車騒音の状況の評価方法

評価範囲は道路両端から 50m の範囲内にある全ての住居等とし、沿道状況の把握、騒音発生強度の観測、騒音暴露状況の把握を行うことにより各戸ごとの騒音を推計して、騒音に係る環境基準（平成 10 年環境庁告示第 64 号）を超過する戸数及びその割合により評価を行う（面的評価）。

3 常時監視の実施区間

常時監視は、2 車線以上の高速自動車国道、一般国道、主要地方道、一般県道及び 4 車線以上の市町村道において実施している。

なお、騒音規制法の改正により、平成 24 年 4 月 1 日からは、市の区域における自動車騒音常時監視は当該市が実施しており、岩手県が実施する区域は、騒音規制法に基づく規制地域を有する 11 町村となっている（表 1 参照）。

令和 6 年度は、金ケ崎町及び平泉町の 11 路線 14 区間（延長 23.1km）において常時監視を実施した。11 町村における評価区間数及び評価区間延長の累計（実施期間：令和 5 年度～令和 8 年度）は、64 区間、88.2km となっている（表 1 及び表 2 参照）。

表 1 町村別評価区間数・延長

町村名称	評価年度	評価区間延長 (km)	評価区間数
雫石町	令和 7 年	3.0	3
岩手町	令和 7 年	7.8	5
紫波町	令和 8 年	8.6	8
矢巾町	令和 8 年	8.5	6
金ヶ崎町	令和 6 年	14.2	6
平泉町	令和 6 年	8.9	8
大槌町	令和 5 年	12.0	8
山田町	令和 5 年	8.5	7
岩泉町	令和 8 年	3.5	4
野田村	令和 5 年	2.3	3
一戸町	令和 7 年	10.9	6
合計		88.2	64

表 2 道路種類別評価区間数・延長

道路種類	評価区間数	評価区間延長 (km)
高速自動車国道	2	4.2
一般国道	27	37.0
都道府県道	35	47.0
合計	64	88.2

4 環境基準達成状況

(1) 全体の状況

県内の評価区間（11 町村）全体で評価を行った（表 3）。

評価の対象とした 7,148 戸のうち、昼間（6 時～22 時）・夜間（22 時～6 時）ともに環境基準を達成していたのは 6,937 戸（97.0%）、昼間のみ環境基準を達成していたのは 8 戸（0.1%）、夜間のみ環境基準を達成していたのは 128 戸（1.8%）、昼夜間ともに環境基準を超過していたのは 75 戸（1.0%）だった。

近接空間※の基準値が適用される地域 2,958 戸については、昼夜間ともに環境基準を達成していたのは 2,797 戸（94.6%）、昼間のみ環境基準を達成していたのは 1 戸（0.0%）、夜間のみ環境基準を達成していたのは 100 戸（3.4%）、昼夜間ともに環境基準を超過していたのは 60 戸（2.0%）だった。

一方、非近接空間における 4,190 戸については、昼夜間ともに環境基準を達成していたのは 4,140 戸（98.8%）、昼間のみ環境基準を達成していたのは 7 戸（0.2%）、夜間のみ環境基準を達成していたのは 28 戸（0.7%）、昼夜間ともに環境基準を超過していたのは 15 戸（0.4%）だった。

表3 環境基準達成状況の評価結果（全体）

	評価結果（全体）					評価結果（近接空間）					評価結果（非近接空間）				
	住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも	住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも	住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも
住居等戸数（戸）	7,148	6,937	8	128	75	2,958	2,797	1	100	60	4,190	4,140	7	28	15
割合（％）	100.0	97.0	0.1	1.8	1.0	100.0	94.6	0.0	3.4	2.0	100.0	98.8	0.2	0.7	0.4

※ 近接空間

2車線以下の道路の場合：道路端から15mの範囲、2車線を超える道路の場合：道路端から20mの範囲

（2）道路種類別の状況

道路種類別の評価としては、高速自動車国道における環境基準の超過割合が最も高く、181戸のうち、昼間のみ環境基準を達成していたのは7戸（3.9%）、昼夜間ともに環境基準を超過していたのは16戸（8.8%）だった（表4）。

表4 環境基準達成状況の評価結果（道路種類別・全体）

		評価結果（全体）					評価結果（近接空間）					評価結果（非近接空間）				
		住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも	住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも	住居等戸数	基準値以下 昼夜とも	基準値以下 昼のみ	基準値以下 夜のみ	基準値超過 昼夜とも
住居等戸数（戸）		7,320	7,105	8	129	78	3,083	2,918	1	101	63	4,237	4,187	7	28	15
道路種類別の内訳	高速自動車国道	181	158	7	0	16	62	55	1	0	6	119	103	6	0	10
	一般国道	2,266	2,085	1	128	52	870	723	0	100	47	1,396	1,362	1	28	5
	都道府県道	4,873	4,862	0	1	10	2,151	2,140	0	1	10	2,722	2,722	0	0	0
	4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
割合（％）		100.0	97.1	0.1	1.8	1.1	100.0	94.6	0.0	3.3	2.0	100.0	98.8	0.2	0.7	0.4
道路種類別の内訳	高速自動車国道	100.0	87.3	3.9	0.0	8.8	100.0	88.7	1.6	0.0	9.7	100.0	86.6	5.0	0.0	8.4
	一般国道	100.0	92.0	0.0	5.6	2.3	100.0	83.1	0.0	11.5	5.4	100.0	97.5	0.1	2.0	0.4
	都道府県道	100.0	99.8	0.0	0.0	0.2	100.0	99.5	0.0	0.0	0.5	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	4車線以上の市町村道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—